

# 任意点計測 【LandXML編】

任意点計測では、LandXMLデータ、基本設計データ、TREND-POINTから出力したヒートマップを元に、任意点を計測して、設計面との差を表示します。

1

## LandXMLデータを読み込む

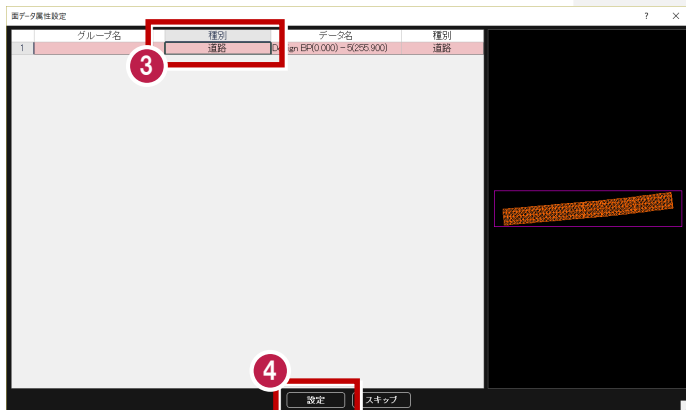


1 2

〔土木〕－〔線形・データ読み込み〕－〔LandXML読み込み〕を選択して、LandXMLデータを読み込みます。

3

〔種別〕を選択します。



4

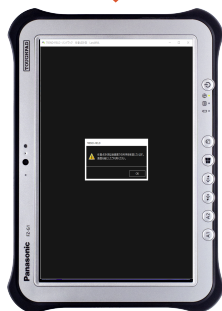
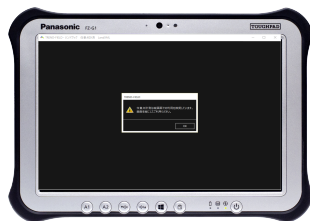
〔設定〕します。



1 [任意点計測] を指定します。



2 使用しているハード（FZ-G1等）を、縦にします。



## ■ TSのみと接続する場合



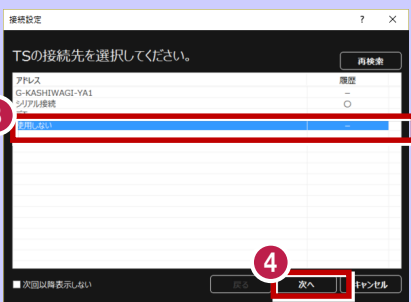
3 接続するTSを選択します。

4 [次へ]を押します。

5 使用しないを選択します。

6 [OK]を押します。

## ■ GNSSのみと接続する場合



3 使用しないを選択します。

4 [次へ]を押します。

5 接続するGNSSを選択します。

6 [OK]を押します。

[illegible]

接続設定

5

GNSSの接続先を選択してください。

再検索

<input checked="" type="checkbox"/> ⑤ ⑥ KASHIWAGI-YA1	-	GNSS
<input type="checkbox"/> 子機	-	
<input type="checkbox"/> 使用しない	-	TS

⑥

☐ 次回以降表示しない

戻る OK キャンセル

3 接続するTSを選択します。

④ [次へ]を押します。

**5** 接続するGNSSを選択します。

⑥ [OK]を押します。

## 3

## 基準点に器械を設置する

任意点計測：器械設置

メニュー

通常観測 後方交合法 CAD入力 キー入力 0.000 m

器械点を指定して下さい。

観測

気象補正 [ ] ppm 気温 [ ] °C 気圧 [ ] hPa ミラー定数 [ ] mm

入力確定 中止 後退

任意点計測：器械設置

メニュー

通常観測 後方交合法

器械点 測点No [ 1 ] 測点名 T-1 器械高 1.345 m

後視点 測点No [ 2 ] 測点名 T-2 距離チェック

観測

気象補正 [ ] ppm 気温 [ ] °C 気圧 [ ] hPa ミラー定数 [ ] mm

入力確定 中止 後退

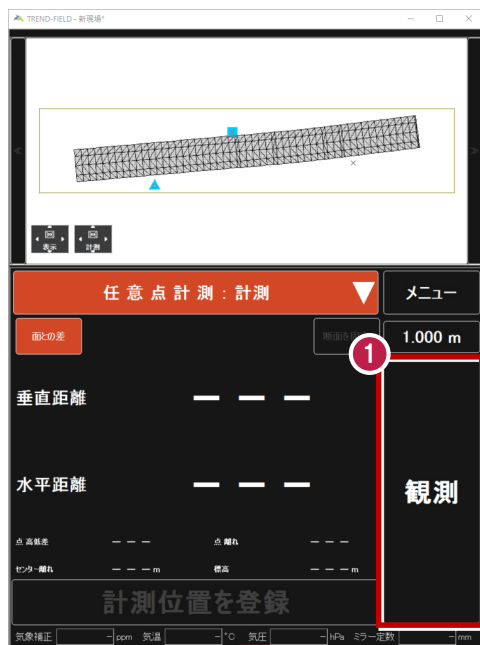
TSと接続した場合の説明です。

1 ここでは「通常設置」を選択します。

2 3  
器械点、後視点を指定します。

4 器械高を入力します。

5 目標高を入力して、後視点を観測します。



- 1 計測したい位置にミラーを移動し[観測]します。



- 2 観測した点がCAD上に表示されます。

- 3 垂直距離や標高等の情報が表示されます。

